

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワーク実習指導 I (P/B/C/N/J/Pw/SBP 編) (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2180 SCMP3480 SBMP3480 SCMP3480
2. 授業担当教員	荻野 基行、小金澤 嘉、田中 良幸		
4. 授業形態	講義, 個別学習・指導, グループ学習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワーク実習指導は、実習指導 I、II、III とソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習を軸として継続的に展開するよう構成されている。これらの授業の主な学習方法は、資料による情報収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多様な方法を用いて、社会福祉実践に必要な知識と技能の具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、理論と実践との統合を図ることを目的としている。</p> <p>ソーシャルワーク実習指導 I では、専門職養成における実習の意義、法的な位置づけ、どのように実習が展開されるのかという基本的学習を中心として、次年度に行う実習に必要な知識を学習する。</p>		
8. 学習目標	<p>ソーシャルワーク実習指導 I が終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）の意義について理解する。</li> <li>2) 実習施設・機関の概要について明瞭な説明ができる。</li> <li>3) 資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。</li> <li>4) 個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解する。</li> </ol>		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題 1: 社会福祉士として求められる実習内容と本学の実習（ソーシャルワーク基礎実習、ソーシャルワーク実習 (A)、ソーシャルワーク実習 (B)）における目標を相互に理解し、実習において実施すべき内容をまとめなさい。</p> <p>課題 2: 実習を希望する実習種別に関して、その希望動機と関連法令、規定されたサービス内容についてまとめなさい。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャルワーク実習指導・実習 (社会専門) 8』中央法規出版、2021. 2</p> <p>【参考書】 東京福祉大学『ソーシャルワーク実習の手引き』 ※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 学習の手引き』 ※講義にて配布</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）の意義について理解する。</li> <li>2. 実習施設・機関の概要について明瞭な説明ができる。</li> <li>3. 資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。</li> <li>4. 個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解する。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題 1 30%</li> <li>2. 課題 2 30%</li> </ol> <p>講義参加度 (事前事後学習、提出物等状況を含む) 40%</p> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の取得を認めない。 また、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。</li> <li>2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。</li> <li>3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。</li> <li>4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であっても F 評価になるので注意すること。</li> <li>5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。</li> </ol> <p>教員は以下のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。</li> <li>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。</li> <li>3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加 (発言、発表等) できるよう双方向対話型の学習環境を作る。</li> <li>4. 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	第 1 回の講義時に通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルワーク実習指導 I のねらいと単元の解説、講義の進め方についての説明</li> <li>・講義、演習、実習の循環について (テキスト pp2-6)</li> </ul>	事前学習	ソーシャルワーク実習指導 I 用のノート (もしくはファイル) を準備し、併せてテキスト「序章」を熟読する。
		事後学習	テキスト「序章」を熟読し、講義・演習・実習の循環についてノートにまとめる。
		配布物	『ソーシャルワーク実習の手引き』、『学習の手引き』、学生調査票

第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前中後の流れ（全体像）と指導体制についての理解（東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」使用）</li> <li>・実習に関する基本的ルールの確認（東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」使用）</li> </ul>	事前学習	実習で学びたいことをノートにまとめる。
		事後学習	『ソーシャルワーク実習の手引き』を参照に東京福祉大学の実習の仕組み（全体像）についてまとめる。
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習および実習指導の意義と目的について理解する（テキスト pp. 2～19）：</li> <li>専門職養成において実習を実施することの意味・意義について理解を深める</li> </ul>	事前学習	テキスト pp. 2-19 を熟読し内容を確認、また不明な点を書き出す。
		事後学習	「（専門職養成において）なぜ実習が必要なのか？」についてまとめる。
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の構造及び東京福祉大学における実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）の理解①（テキスト pp. 37-44 及びソーシャルワーク実習の手引き使用）：</li> <li>本学の実習目標を理解する。</li> </ul>	事前学習	テキスト pp. 37-44 を熟読し内容を確認、また不明な点を書き出す。
		事後学習	東京福祉大学の実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）の目標についてノートにまとめる。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の構造及び東京福祉大学における実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）の理解②（テキスト pp. 37-44 及びソーシャルワーク実習の手引き使用）：</li> <li>実習において求められる教育内容と本学の実習目標を相互に理解し、実習目標への理解を深める</li> </ul>	事前学習	厚生労働省が示す「ソーシャルワーク実習」における「教育に含むべき事項」についてその内容を確認する。
		事後学習	ソ教連が示す「ソーシャルワーク実習 教育ガイドライン」の内容を確認する。
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習におけるスーパービジョンの理解（テキスト pp. 20-23）：</li> <li>スーパービジョンに関する基本的知識の確認と本学の実習巡回指導及び帰校指導の方法について理解する</li> </ul>	事前学習	テキスト pp. 20-23、pp. 7-44 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
		事後学習	スーパービジョンの意義と目的、評価の意義と目的についてノートにまとめる。
第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習における教育評価の理解（テキスト pp. 24-36）：</li> <li>実習における評価の意義と方法を知るとともに、本学の実習評価の仕組みについて理解する</li> </ul>	事前学習	テキスト pp. 24-36 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
		事後学習	実習評価の意義についてノートにまとめる。
第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習におけるリスクマネジメント（テキスト pp. 45-55）：</li> <li>個人情報保護法の理解を含め、実習におけるリスクマネジメントの必要性和重要性において理解を深める</li> <li>・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染等防止対策について：</li> <li>感染防止対策に関する基本的事項について確認する。</li> </ul>	事前学習	テキスト pp. 45-55 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
		事後学習	感染症防止の基本的事項と留意点をまとめる。
第9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設、機関に関する情報収集の方法（テキスト pp. 58-63）：</li> <li>実習先を考えるにあたり事前学習としての実習施設・機関に関する情報収集の方法を知る。</li> </ul>	事前学習	テキスト pp. 58-63 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
		事後学習	実習施設・機関の情報収集の方法についてまとめる。
第10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習記録の書き方（テキスト pp. 64-72）：</li> <li>実習に関連するレコーディングについて理解を深める</li> </ul>	事前学習	テキスト pp. 64-72 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
		事後学習	実習における記録の意義と方法についてまとめる。
第11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先の分野と施設・機関の理解（テキスト pp. 73-79 及び東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」使用）：</li> <li>法定施設・機関の紹介と希望種別の選択</li> </ul>	事前学習	テキスト pp. 73-79 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
		事後学習	実習希望種別を選別するとともにその動機についてノートにまとめる。
第12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習として実習先を理解する意義（テキスト pp. 58-63）：</li> <li>希望種別に関する事前学習レポートをまとめる（課題2）</li> <li>・社会福祉士資格取得に関する動機及び実習先種別に対する動機の明確化</li> </ul>	事前学習	実習希望種別に関する情報を収集する。
		事後学習	課題2の作成（講義内で示される提出期限厳守）。
第13回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設・機関の基本的理解：</li> <li>個人レポート（課題2）の発表と共有</li> </ul>	事前学習	希望種別に関するプレゼンテーションの準備。
		事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバックをまとめる。
第14回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設・機関の基本的理解：</li> <li>個人レポート（課題2）の発表と共有</li> </ul>	事前学習	希望種別に関するプレゼンテーションの準備。
		事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバックをまとめる。
第15回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめ</li> <li>・ソーシャルワーク実習指導Ⅱに向けた課題</li> </ul>	事前学習	ソーシャルワーク基礎実習に係る各種書類を整え、不足がないかを確認する。
		事後学習	ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習指導Ⅱに向けた自己課題についてまとめる。